

光中だより

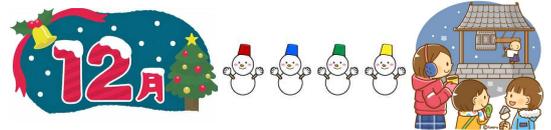
学校だより No. 8 令和4年12月23日
発行 横芝光町立光中学校 文責：八巻 隆介
住所 〒289-1727 山武郡横芝光町宮川 5883
TEL 0479-84-1545 FAX 0479-84-2874

「成功している者はみんな努力している」教頭 八巻 隆介

日ごとに寒さが増し、冬を感じる季節となりました。3年生や保護者の皆様にとっては、いよいよ受験が近づいてきたことを実感するのではないのでしょうか？生徒たちはもちろんのこと、保護者の方々がお子様の成長に関わったことのすべてが報われ、希望する進路に進むことができるよう心から願っています。

ただ残念ながら、受験は、志願した受験生全員が志望校に合格するようにはできていません。「努力が報われる＝合格」とするならば、「必ず報われる」とは言いきれないかもしれません。でも、「努力は必ず報われるとは限らないが、成功している者はみんな努力している。」と考えればどうでしょうか？少なくとも私は心からその言葉を信じていることができます。勉強でも運動でも、同じ時間をかけて努力しても、皆同じだけの成果が出るとは限りません。仮に、サッカーワールドカップで活躍した選手と同じだけの練習をしたとしても、同じような結果にはならないことの方が多いと思います。勉強も同じです。頑張っても勉強すれば絶対に合格できるとは限りません。でも、勉強しないことには合格はできません。我々大人も中学生時代がありましたので、投げ出してしまう気持ちも分かります。それでも、困難な道に立ち向かってほしいと思うのが親であり、教職員です。人は自分のためだけでは弱い自分を乗り越えられないこともあります。自分プラス誰かのためにという気持ちを持ち、人生の岐路に立ち向かってほしいと思います。

大会・アンサンブルコンテストの結果



【陸上競技部】

千葉県中学校新人駅伝大会予選

男子 **第3位**【県大会出場】
女子 第8位



【吹奏楽部】

アンサンブルコンテスト地区予選

打楽器三重奏 **金賞**【県大会出場】
金管五重奏 **金賞**
木管四重奏 **銀賞**



【卓球部】

オータムンカップ（1部リーグのみ掲載）

男子1部リーグ
1回戦 対 芝山中 1-3



女子1部リーグ **第3位**
1回戦 対 芝山中 3-1
2回戦 対 成東東中 3-2
準決勝 対 横芝中 0-3



山武郡市カデット卓球大会

男子13シングルス
ベスト3 2 斎藤映太、小畠隼斗
男子14シングルス
ベスト1 6 串田煌弥
ベスト3 2 椎名賢介、伊藤颯太
女子13シングルス
ベスト3 2 中西海里
女子14シングルス
準優勝 県大会出場 古屋美晴
ベスト3 2 伊橋里咲、川野結衣



【ソフトテニス部】

山武郡市1年生大会 (ベスト16以上)

男子個人戦
ベスト16 椎名重仁・須合優斗ペア
女子個人戦
第3位 行方綾琉・今関真心ペア
県大会出場



山武市ソフトテニス大会

女子団体戦

準優勝

2回戦 3-0 対 大網中
準決勝 2-1 対 山武中
決勝戦 0-2 対 横芝中



白子カップ (ベスト64以上)

男子2年生の部
ベスト16 高橋悠翔・増島巧翔ペア
ベスト64 最上悠翔・澁谷(山武望洋)



男子1年生の部
ベスト32 椎名重仁・須合優斗



女子2年生の部
ベスト16 越川陽花・土橋千咲
ベスト16 實川茉由・越川千加

女子1年生の部
第3位 行方綾琉・今関真心



心・技・体 中学生ソフトテニス大会
男子 **第3位** 女子 **優勝**

どうして大晦日って言うの？おせち料理の由来は？

毎年、当たり前のように過ごしている大晦日やお正月。実は知らないことばかりです。12月31日はどうして「大晦日」って言うんだろう？「おせち料理」の「おせち」って何だろう？「お年玉」っていつからあるんだろう？こういう疑問をもつことはとても大切だと思います。「分からない」のではなく「知らない」だけですよね？下記に少しだけ紹介します。今は、こういう疑問をすぐに調べられる時代となりました。自分自身のアンテナを高くし、タブレット等を使って知識量を増やすとともに、家族内での会話でアウトプットできれば一石二鳥どころか一石三鳥にもなるでしょう。



(1)大晦日(おおみそか)

大晦日は、月の満ち欠けを表す「晦日(みそか)」という言葉に由来します。旧暦では、晦日には月の最終日という意味があり、12月の最終日をその年の最終日として大晦日と呼んでいるのです。

(2)おせちの由来

季節の変わり目「節」、お祝いの行事「節句」、神様にお供えする料理「節供料理」などが合わさった「御節供(おせちく)」が由来だと言われています。それが略されて「おせち」となったのだとか。

(3)十二支(じゅうにし)とは？

日本人は、十二支を子(ねずみ)、丑(うし)、寅(とら)、卯(うさぎ)、辰(りゅう)、巳(へび)、午(うま)、未(ひつじ)、申(さる)、酉(とり)、戌(いぬ)、亥(いのしし)と覚えています。何でねずみが一番最初なのでしょう？逸話もいろいろありますが、その中の一つを紹介しましょう。

昔々、ある暮れのこと。神様が動物たちに言いました。「元日の朝、私のところへ来なさい。最初に到着したものから12番目のものまでを、1年交代でその年の大将にしてあげよう」と。動物たちは張りきっていましたが、ネコは話を聞き漏らしてしまい、ネズミに尋ねます。するとネズミはわざと1日遅れの日付を教えてやり、ネコはそれを真に受けて帰って行きました。元日となり、足の遅いウシが誰よりも早く夜明け前に出発しました。すると、牛小屋の天井でこれを見ていたネズミが、こっそりウシの背中に飛び乗りました。そんなこととは知らないウシが神様の家に着くと、まだ誰も来ておらず、門も閉まったまま。我こそが1番だとウシは喜び、門が開くのを待っていました。やがて朝がきて門が開いたとたん、ウシの背中からネズミが飛び降り、ネズミが1番となりました。残念ながらウシは2番となり、それからトラ、ウサギ、タツ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシの順で到着しました。1日遅れで出かけたネコは番外となり、それ以来ネズミを恨んで追いまわすようになったそうです。ちなみに、私はネズミ年で、ネコよりもイヌが好きです(笑)。他にも、除夜の鐘はなぜ108回なんだろう？正月ならではの遊び、凧あげ・羽根つき・百人一首の由来は？何でお年玉って言うんだろう？他の国の正月は？・・・調べてみるのも面白いですね。

